

島根県技術士会青年部「オモシロ技術塾」開催報告

■実施趣旨

NPO地域づくり工房では、中小規模の開発事業等における自主的な環境配慮の取組みを支援するため、自主簡易アセス支援ツールの開発を進めています。この間、本会法人会員である株式会社フォーラムエイト様及び一般財団法人最先端表現技術利用推進協会のご協力を頂いて、「自主簡易アセス支援サイト」と関連するソフトを開発しています。

そのプロセスをご紹介し、専門家の方々からご意見をいただく場を設けました。このたび、島根県技術士会青年部のご協力をいただき、同会が開催している「オモシロ技術塾」としてセミナーを開催していただきました。

■実施概要

テーマ：自主簡易環境アセスメント ～VR技術を活用した地域づくり～

開催日：2015年8月28日（金） 午後7時～5時

会場：出雲ビッグハート出雲（JR出雲駅前）

出席者：12名（島根県技術士会会員のコンサルタント会社や自治体職員等）

講師：傘木宏夫（NPO地域づくり工房代表理事、環境アセスメント学会常務理事）

共催：島根県技術士会青年部「オモシロ技術塾」 <http://peshimane.net/2015/09>

NPO地域づくり工房

協力：株式会社フォーラムエイト

助成元：独立行政法人環境再生保全機構「地球環境基金」（平成27年度）

■主な質問など

Q：きっと役に立つソフトなので、独占すればいいと思うが、なぜこのように紹介し、ノウハウを広めようとするのか？

A：地球環境基金を受けて構築していることと、全国各地で取り組まれるべきことと考えているので、担い手を広げる必要がある。3D・VRを使ったソフトは有償のものなので、そちらにつながることは期待している。

Q：アセスにおけるファシリテーションの勘所は？

A：可視化することと、視点を住民に合わせることで見やすく努力をすること。3D・VRを使っているのは可視化に優れた技術で、かつ容易に構築することができるから。



以上